

学生論文特集の発行にあたって



学生論文特集編集委員会

委員長 山名 早人

情報通信技術の発展は、多様な研究に支えられており、学生は日々高度化する技術を体系的に学ぶと同時に、若き研究者として研究の最先端を担っている。このため、学生の研究成果が広く論文として刊行されることは、情報通信分野の学術活性化にとって欠くことができないことである。

情報・システムサイエティ和文論文誌編集委員会では、情熱と進取の気概にあふれる若手研究者を育成するため、今回、初めての試みとして学生論文特集を企画した。本特集を通して、次世代を担う若手研究者による研究の広がりを世の中に示すことはもちろん、若手研究者同士の分野横断的な新しい研究交流、そして研究活性化の契機となることを期待している。

査読にあたっては、著者が学生であるということに鑑み、指導的な判定文となるよう心がけた。特に、よい点はほめ、悪い点はなぜ悪いのかを指導的見地から記載した。更に、不採録となった論文に対しても、再度投稿頂けるような改善が考えられるかを含めできるだけ詳細に記載した。こうした、論文の執筆・修正を通じて、若手研究者が、問題の本質を捉え、自らのアイデアを整理・検証し、その核心を必要十分

に説明する能力を涵養されることを望んでいる。

今回初めてとなる学生論文特集へ投稿頂いた論文数は116編であり、厳正な査読の結果、最終的に33編を採択した。今回採録とならなかった学生諸君は、諦めることなく再投稿して頂けることを望んでいる。

最後に、本特集を発行するにあたり、御投稿頂いた方々、論文査読に御協力頂いた方々、企画及び特集に御尽力頂いた編集員各位、並びに事務局の方々に感謝申し上げます。この特集企画が今後も継続的に実施され、多くの若手研究者が活躍できる場となることを期待する。

山名 早人 (正員・シニア会員) 昭62早大・理工・通信卒。平元同大大学院修士課程了。平5同大学院博士後期課程了。博士(工学)。平5～12電子技術総合研究所。平12早大・理工学部助教授。平17理工学術院教授。現在に至る。情報処理学会山下記念研究賞(平7)。日本データベース学会論文賞(平21)。IBM Faculty Award(平21)。本会東京支部評議員(平17～18)。本会和文論文誌D編集委員会副委員長(平22)。情報処理学会、IEEE、ACM、AAAI各会員。情報検索、大規模情報解析、並列・分散処理等の研究に従事。

学生論文特集編集委員会

委員長	山名早人
幹事	杉本晃宏・峯松信明・山田武士
委員	天野一幸・安藤英由樹・井口和久・石川博明 井上美智子・岩野公司・植野彰規・潮田浩三 大塚和弘・緒方広明・岡田隆三・岡野浩敏 岡村寛之・柏野邦夫・片山薫・神嶋敏弘 吉瀬謙二・北神正人・北原格・北原鉄朗 久保田彰・佐々木整・佐藤哲大・柴田智広 白石善明・白銀純子・菅幹生・鈴木伸崇 高倉弘喜・田中正行・塚田正人・埴大史 平嶋宗・堀田一弘・堀田政二・益子貴史 三村和史・宮川勲・村田真樹・目加田慶人 森大毅・守屋俊夫・諸岡健一・山口修 吉田健一・四柳浩之・和田親宗